

◇—————◇
公益社団法人 日本航空機操縦士協会
メールマガジン Vol.14 2018/3/1

◇—————◇

いつも JAPA メールマガジンをご愛読頂きありがとうございます。
3月に入り徐々に気温も暖かくなり、すごしやすい陽気になってきました。
東京でも梅の花が咲き始め、春の息吹を感じさせてくれます。

さて、前回のメルマガでもお知らせさせていただきましたが、
JAPA では3月に各支部による航空安全セミナーを予定しています。
よろしければぜひご参加ください。

<https://www.japa.or.jp/2877>

★——INDEX——★

- [1] 【役員コラム】 操縦士（主に小型航空機を運航する方）を対象にした航空局からの情報提供が始まりました
- [2] 【支部便り】 沖縄支部活動紹介
- [3] 【航空豆知識】 史上初の航空管制官
- [4] 【JAPA E-Journal 2017-005】
ATC 再発見「EDCT の運用② Radio/Remote 空港編」 ATS 委員会
- [5] 【3月-4月】 JAPA 主催 セミナー・イベントの予定

★—————★

- [1] 【役員コラム】 操縦士（主に小型航空機を運航する方）を対象にした航空局からの情報提供が始まりました 副会長 吉田 徹

★—————★

2月14日午後、九州北部と中国地方、北陸で春一番が吹いたと気象庁の発表がありました。
春一番がよく吹く地域のトップは関東や北陸とのことですが、関東での観測も間近でしょうか。
春一番は「立春から春分の中に初めて吹く南寄りの強い風」ですが、その定義は「風速」「気温」及び「気圧配置」等、各气象台で若干の条件の違いがあるそうです。この後は気圧配置による「寒の戻り」があり、

天気及び風向風速の変化も激しいため、地上では好天で暖かくなっても上空は冬の冷たい大気が残る早春は低気圧の移動も早くなることから、飛行には最新の情報を入手し、その時間的変動に注意する必要があります。

今回は一昨年度より開催されています「小型航空機等に係る安全推進委員会」について紹介させていただきます。

委員会では小型航空機の利用実態及び運航実態を把握し更なる安全性向上のため、きめ細かい安全対策の充実が課題であり、そのためには国と操縦士間の連携を強化する必要があるという認識の下、昨年度より国と操縦士の連携のためのプラットフォーム（ポータルサイト）の構築を準備しています。

この目的は特定操縦技能審査に関連付け「安全啓発・情報発信」を強化し「運航者側からの安全提案の促進」を図るために、航空局が発信する安全情報等を主な対象である自家用操縦士へ提供することとなります。

このため、特定操縦技能審査時若しくは申請により審査対象者のメールアドレスの収集が昨年より開始されています。

自ら情報収集を行う必要がある操縦士（主に小型航空機を運航する方）の皆様にはメールアドレスの登録は有用な手段と思われ、今後委員会では海外のサイトにおける情報発信方法や SNS の利用方法等を参考に、掲載内容の充実・利便性向上を図り、ポータルサイト構築の準備を継続する予定ですので、登録をお勧め致します。なおメールアドレス登録要領は下記をご参照下さい。

▼航空局ホームページ

「平成 29 年 7 月よりメールアドレスの収集を開始致します」

http://www.mlit.go.jp/koku/koku_tk10_000012.html

★

[2] 【支部便り】 沖縄支部活動紹介

沖縄支部長 屋良 朝義

★

ハイサイ、グスウヨウ、沖縄支部長ヌ屋良朝義ヤイビーン。

ミーシチョウティ、ウタビミセービリ。

（みなさん、沖縄支部長を務めています屋良朝義と申します。

よろしくお願ひします。）

今回は、沖縄支部の活動についてご紹介いたします。

さて皆様、沖縄にはたくさんのパイロットがいる事をご存知ですか？

各定期運送航空会社をはじめ、使用事業、官公庁、自家用、在日米軍パイロットなど様々な方がおり、現在 JAPA だけでも約 200 名の方にご登録いただいております。

この人数は 47 都道府県、上から 9 番目に多く、全国でも有数のパイロット県ではないかと自負しています。

パイロットが多いと言う事は、飛び交う航空機も多いという事です。

狭い沖縄の空域を多種多様な航空機が日々飛び交っています。

(それを実に整然に且つ安全に指示頂いている管制官には頭が下がる思いです)

沖縄支部では、『パイロット同士や管制官との相互理解無しには空の安全は無し』と考え、航空人との交流を最重要活動と位置付けて活動しています。

例年実施している在沖米軍航空部隊施設見学と意見交換会の他、2 年前からはじめた自衛隊那覇基地に駐屯する防衛省パイロットとの意見交換会は他業種間における相互理解を深めるにあたり大変好評で、今後も定例的に実施したいと考えております。

また、管制会議等にも積極的に参加し、意見交換会とコミュニケーションにも励んでいます。

次年度以降も新たな交流事業を企画していく予定です。

今後とも沖縄支部の活動にご支援とご協力をお願いします。

★

[3] 【航空豆知識】 史上初の航空管制官

★

皆様は史上初の航空管制官が誰だかご存じですか？

それは、「Fundamentals of Air Traffic Control」という書籍の「History of Air Traffic Control」の章において、1929 年、

米国ミズーリ州セント・ルイス飛行場（St. Louis Airport）で
雇用された「アーチャー・リーグ（Archie W. League）氏であると
紹介されています。

彼は、フライング・サーカスの曲技飛行機乗りやメカニックという
経歴の持ち主でした。

別名「フラッグ・マン」とも呼ばれた彼は、毎朝、出勤すると手押し車に
ビーチ・パラソルとチェア、ノートパッド、緑と赤の手旗そして水筒と
ランチを載せて、アプローチ側の滑走路端に出向き、飛行機に対し、
離着陸を許可する時は「緑色」の旗を、待機などを指示する時は「赤色」の
旗を振って、一日飛行場周辺の空の交通整理にあたりました。
また、計器気象状態時は大型の灯火装置を用いて、飛行機に信号を送っていた
とも記録されています。

なんとも、のどかな古き良き飛行機野郎の時代を彷彿させると思いませんか。

★

[4]【JAPA E-Journal 2017-005】 ATC 再発見「EDCT の運用② Radio/Remote 空港編」 ATS
委員会

★

JAPA ATS 委員会より、「E-Journal 2017-005」が発行されました！

前回「JAPA E-Journal 2017-004」の続編となりますので、前回分をご覧頂いていない方は
ぜひ併せてご覧くださいませ！

▼前回【JAPA E-Journal 2017-004】 ATC 再発見「EDCT の運用① Tower 空港編」

<https://www.japa.or.jp/wp-content/uploads/2018/01/E-journal-2017-004.pdf>

▼最新【JAPA E-Journal 2017-005】 ATC 再発見「EDCT の運用② Radio/Remote 空港編」

https://www.japa.or.jp/wp-content/uploads/2018/02/JAPA_E-journal_2017-005.pdf

★

[5]【2月-3月】JAPA 主催 セミナー・イベントの予定

★

これから計器飛行証明を取得しようとする方、
IFR の知識を得たい方におすすめの講座です。(全 8 回開催)

- ・ 第 5 回 IFR 学科講座 2018 年 3 月 4 日(日)<東京>
- ・ 第 6 回 IFR 学科講座 2018 年 3 月 17 日(土)<東京>
- ・ 第 7 回 IFR 学科講座 2018 年 4 月 21 日(土)<東京>NEW
- ・ 第 8 回 IFR 学科講座 2018 年 4 月 22 日(日)<東京>NEW

https://sites.google.com/a/japa.or.jp/ifr_lecture/

- ・ 小型航空機セーフティセミナー 2018 年 3 月 5 日(月)-6 日(火)
- ※両日定員に達しましたので受付締め切っております

2018 年度のイベント、セミナーについては HP に掲載後、
改めてご案内をさせていただきます。

* * * * *

★次回の配信は 3 月中旬を予定しております★

JAPA メールマガジンの配信先変更方法及び配信停止方法
については以下、ご参照の上、お手続きください。

<https://www.japa.or.jp/mail-magazine>

【発行】公益社団法人 日本航空機操縦士協会
電話 03-6809-2902
メール japa@japa.or.jp
ホームページ <https://www.japa.or.jp>
